

## 公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	島津明人	所属	慶應義塾大学
研究会等名称	産業保健心理学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数（会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本心理学会第 87 回大会企画シンポジウムは、オンデマンド配信のため、参加人数等は不明</li> <li>・国際学会 Joint Congress of ICOH-WOPS &amp; APA-PFAW 2023 における国際交流セッションは約 20 名</li> </ul> <p>2) 集会等の目的・成果等</p> <p>本研究会では、臨床心理学、産業・組織心理学、社会心理学、精神医学、公衆衛生学などの多領域にわたる国内外の研究者や実践家らとともに、労働者の安寧（健康、幸福、安全）に関する研究と実践について、総合的に検討することを目的とする。</p> <p>本年度は以下の活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本心理学会第 87 回大会における大会企画シンポジウム（日本産業ストレス学会との共催） 「職場のストレスとメンタルヘルス：産業保健心理学の国際化に向けて」 日時：2022 年 9 月 15 日～9 月 17 日（オンデマンド配信） 内容：2002 年から毎年年度大会にて企画しているワークショップ/シンポジウムであり、2023 年度で 21 回目の開催となった。今回は、研究会が発足して 10 年を迎えたのを契機に、産業保健心理学に関わる国際動向と今後の国際化に向けた展望について、4 名が話題提供を行った。そして、2023 年 9 月に東京で開催された「仕事の心理社会的要因に関する国際学会 Joint Congress of ICOH-WOPS &amp; APA-PFAW 2023」の概要と注目点も紹介した (<a href="https://hp3.jp/icoh-wops_apa-pfaw2023/">https://hp3.jp/icoh-wops_apa-pfaw2023/</a>)。なお、例年は、70-100 名の会員が参加しているが、今回は、オンデマンド配信のため視聴人数は不明である。</li> <li>・国際学会 Joint Congress of ICOH-WOPS &amp; APA-PFAW 2023 における国際交流セッションの実施 日時：2023 年 9 月 21 日（木） 場所：一橋講堂 内容：「Social meeting. Let's talk about global collaboration: study abroad and global research project.」と題した国際交流セッションにおいて、日本人および海外からの若手参加者約 20 名が交流したセッションを開催した。ファシリテーターは、尾崎由佳先生（日本心理学会国際交流会委員長）、岩田昇先生（本研究会メンバー）が担当した。</li> </ul> <p>2024 年度は、第 88 回大会における公募シンポジウムを中心とした活動を予定している。</p>		

(様式5)

2024年3月1日

日本心理学会研究会

年度会計報告書

研究会名称 産業保健心理学研究会

研究会番号 23022

助成金額 ¥30,000

年月日	項目	金額
2024年3月31日	返金（日本心理学会）	¥30,000

支出合計 ¥30,000